

■「冬の水鳥を見よう！」

場所／鶴見緑地公園大池周辺

天候／晴

日時／平成27年2月14日(土)

講師／田中翔平《ネイチャー大阪》

スタッフ／7名

参加者／大人3名

観察内容／前日は雪がちらつく天気でしたが、観察会当日は晴れて絶好の観察日和となりました。



このところ、大池の水鳥が大変少なく、大池北側の葦原がすっかり刈り取られたためかコガモも見られなくなったので、今年は山の鳥も見ることになりました。

まず、初めに大池で双眼鏡の使い方を説明した後、ヒドリガモやユリカモメ、カワウを見ました。プロミナーを通してみるカワウの目はとても綺麗でした。遙かかなたの樹上にカワラヒワが数羽いましたが、双眼鏡で見られても、プロミナーに捉えるのは至難の業でした。

次に、日本庭園の池に向かいました。10羽ほどのマガモは寝ていましたが、コサギとアオサギが池の周りをぐるりと取り巻き魚をじっと狙っていました。また、カワセミの羽が日に照ってキラキラと輝いていました。参加者がうっとりとして見とれていたところ、突然カワセミが水に飛び込みました。でも、魚は獲れませんでした。残念でした。



日本庭園から山のエリアに向かい、山の鳥の観察です。水鳥は池に行くとき浮かんでいるのですが、山の鳥はどこに現れるのかわかりません。多くのバードウォッチャーが大きな望遠レンズ付きのカメラを並べて

いました。アカゲラが来ていたようですが、私たちには見られませんでした。比較的近くで、ジョウビタキのメスやメジロ、アカハラ、シロハラ、イカルが見られました。

その後、再び大池に移動。地元の皆さんがカモにパンをやっている池の畔からカモたちを観察しました。オナガガモとホシハジロが多く見られました。ホシハジロやキンクロハジロが水に潜って採餌する様子や淡水ガモと海ガモの体型の違いをじっくりと観察できました。



最後に、花棧敷近くで講師の田中さんが今日観察した水鳥の鳥合わせをしてくれました。また、お土産として田中さん手作りの鳥や昆虫の写真の入ったキーホルダーとスタッフ手作りの水鳥の羽をパウチした葉を渡して終了しました。

【観察した鳥】マガモ、マガモ風カルガモ？、カルガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ユリカモメ、セグロカモメ(右写真)、オオバン、カワウ、アオサギ、コサギ、カイツブリ、カワセミ、ハクセキレイ、ツグミ、シロハラ、アカハラ、ムクドリ、ヒヨドリ、カワラヒワ、ジョウビタキ、イカル、メジロ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、キジバト、ドバト、スズメ

